

## 令和2年度 宗像市渡船事業運営審議会（第1回）

### <会議録>

#### ■日時・場所

○日時：令和2年8月6日 14：10～15：30

○場所：神湊港渡船ターミナル2階 会議室

#### ■出席者

○審議会委員

委員出欠表（ <input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席）		
<input checked="" type="checkbox"/> 待鳥委員	<input checked="" type="checkbox"/> 清嶋委員	<input checked="" type="checkbox"/> 松元委員
<input checked="" type="checkbox"/> 佐藤委員	<input checked="" type="checkbox"/> 田中委員	<input checked="" type="checkbox"/> 東委員

○事務局：的野危機管理担当部長、城戸交通対策課長、嶋立渡船係長、丸井主任主事

○傍聴：九州運輸局 島壮司

#### 1. 開会

的野部長：開会のあいさつ（省略）

#### 2. 委嘱状の交付と委員紹介

事務局：「2. 委嘱状の交付と委員紹介」につきまして、渡船係長から説明させます。

事務局（渡船係長）：「2. 委嘱状の交付と委員紹介」につきまして、説明いたします。別紙1「宗像市渡船事業運営審議会委員名簿」をご覧ください。

今年4月期の九州運輸局における人事異動により、川上前委員が交代となられましたので、九州運輸局長に本審議会委員の選任をお願いいたしましたところ、離島航路活性化調整官の清嶋様をご選任いただきました。ご本人様からも事前にご承諾をいただきましたので、本日、委嘱状を交付させていただきます。

なお、委嘱状は、本来、市長が交付すべきところですが、本日は別件公務のため出席ができませんので、危機管理交通担当部長の的野より交付させていただきます。

委嘱状交付（省略）

清嶋委員：自己紹介（省略）

事務局：開会成立の確認です。6名の委員中、現在6名の委員のご出席をいただいております。

定足数の過半数に達していますので、審議会を開会いたします。

### 3. 議事

#### (1) 運航ダイヤについて

待鳥会長：それでは、議事に入ります。議題(1)運航ダイヤについて、事務局より説明をお願いします。

事務局：それでは、【資料2】宗像市渡船事業における航路再編について説明します。

資料『宗像市渡船事業における航路再編について』に沿って内容を説明。

待鳥会長：ただいまの説明について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

大島代表の佐藤委員ご質問・ご意見はございますでしょうか？

佐藤委員：意見はございません。

田中委員：要望どおりにダイヤ案を組んでいただいたと思います。しおかぜが運航するというので、大島が母港となると、船員が地島から大島に転出しなくてはならないので、白浜を母港にしてもらいたい。人口が減るのが島民として悲しいこと。そして、若い乗組員さんが、結婚して、島で定住していくことで人口流出を防ぎ島の活性化にもつながるので、ぜひ、母港を地島にしてほしい思いが強いです。

待鳥会長：新ダイヤでは、白浜港が発発になりますので、白浜港が母港でいいのではないのでしょうか

田中委員：白浜に母港としてしおかぜがおれば、地島船員は、1便から白浜発ですので定住するのではないかと、思う。また、しおかぜは、柄が高くですね、冬になると玄界灘の荒波に対応できないかと、地元の島民の意見が強かったですね。

待鳥会長：安全管理規程の運航基準では、しおかぜもニューじのしまも同じではないでしょうか。欠航は海上運送法の規定により運航基準で波の高さなどの一定の気象条件により運航の可否が決まりますので、ニューじのしまとしおかぜとの違いはないと思います。乗りごこちは違うと思います。

田中委員：今、現在でニューじのしまとしおかぜの運航する時化の中で、大島の方は欠航されても、地島の方は、中学生が本土の中学校に通ってますので、ある程度の時化には、

運航している。できれば将来、そのような時化に対応できるような、中学生が欠航で登校できない状況をなくすために、この海にあった船を建造していただきたい。

東委員：しおかぜを波が荒い時に対応できるよう、改造したらどうか。

待鳥委員：海上気象をすべてクリアは難しいし、コスト面も考えないといけない。

東委員：水中翼船はどうか。

待鳥会長：水中翼船は約 50 億かかる。税金を投入することになりますから、バランスが大事で、1 番合理的な方法を、いかに安いコストで利用者が利用しやすい方法を考えなければならぬ。

松元委員：バスの運行について、東郷駅方面は J R との接続がよいが、福間駅方面のバスは J R との接続が悪いと思います。今後、バス会社と時刻の変更、バスの増便等の交渉を行う予定はありますか。

事務局：今後、おそらく増便はないと思います。神湊を通って福津に行かれるが利用者があまり多くないのと、限られた時間帯で利用されている。常時ニーズがないところです。

松元委員：福津方面に行くには、バスで東郷駅まで行って、J R を利用することになるのですか。

事務局：はい。そちらの方が便利です。

清嶋委員：バスとの接続ダイヤですが、第 4 便白浜発、神湊着 14 時ですが、バスの時刻が 14 : 02 ~ 14 : 07 になってますが、このバスに間に合うのか。

事務局：このバス時刻表示は、14 : 02 着でして 14 : 07 発になり 5 分滞在しているという表示です。

清嶋委員：これであれば、間に合うということですね。

事務局：フェリーターミナルのすぐ目の前にバス停がありますので、5 分あれば、乗船下船は可能であると思います。

清嶋委員：1月の会議の中で、両島を巡っての島活性化の話があったと思いますが、15：10に大島に着いて、15：35に大島から白浜に行くというふうに島を巡るという形になっていると思います。この時間帯に大島のほうはいいと思いますが、白浜に寄って観光するお客さんがいた場合、夕方の時間帯になりますので、白浜発17：40に乗船まで、滞在時間はとれると思いますが、夕方の時間帯になりますので、地島の観光・交流振興において島の受け入れ体制なども含めてどうなのかなと思います。

待鳥会長：資料2の7ページ4. 参考資料(1)の宗像市航路改善計画における基本的な考え方で、「島の観光・交流振興による島外利用者の促進と島外利用者の利便性に配慮する。」と「生活航路としての利便性を大きく低下させないように配慮する。」もあります。

この時間帯で、島の中で特産品の販売をしたりなど、みんなで工夫や協力していかなければならない部分もあると思います。

待鳥会長：2便目の臨時便のアナウンスを正確にしたほうがいい。

東委員：航路が変わると運賃が変わったりするのでしょうか。

事務局：大島と白浜を結ぶ新しい区間を結ぶ運賃を審議する必要があり、運賃については、次回の審議会でお話ししています。

待鳥会長：以上ダイヤ案について、よろしいでしょうか。


一同：意義なし。

### 3. 閉会

待鳥会長：閉会のあいさつ（省略）

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和 3 年 2 月 10 日

議事録署名人 田中勇門 

議事録署名人 佐藤隆数 